



特集 大田原マラソン大会



問 スポーツ振興課 体 TEL 0287(22)8017

大田原マラソン大会は、昭和63年に始まり、昭和・平成の時代を超え、令和5年の今年で第33回を迎えます。

令和2年から令和4年までの3年間は、42年ぶりに栃木県で開催された第77回国民体育大会「いちご一会とちぎ国体」準備のため休止としていました。休止している間には新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るい、私たちの生活様式は大きく変化しました。

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になり、少しずつですが、以前の生活、地域活動を取り戻しつつある状況です。

大田原マラソン大会は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、コースを新たにランナーと共に再び走り出す瞬間を迎えます。この特集では、昭和に始まった大田原マラソン大会について、開催当手を振り返ってみたいと思います。



第1回大会スタート(美原公園前)

昭和59年、当時の渡邊正義市長が「市制30周年を記念し、大田原市に栃木県内唯一の日本陸上競技連盟(以下「日本陸連」)公認のマラソン大会を誘致する。」と掲げたことが、大田原マラソン大会誕生のきっかけとなりました。

大田原マラソン大会の前身となる大田原青年会議所主催の大田原那須与一健康マラソン大会(昭和54年~61年)、那須陸上競技協会主催の那須野ヶ原マラソン大会(昭和58年~62年)が統合となり、昭和61年に日本陸連のコース検定を受け、昭和62年に日本陸連の公認を取得し、第1回大田原全国マラソン大会は、昭和63年12月4日に産声をあげました。

当時の大田原マラソン大会は現在の制限時間4時間よりも更に厳しい「制限時間3時間30分」でしたが、全国各地より1,780名の腕自慢、もとい脚自慢の方が参加しました。第5回大会からは現在の4時間制限に変更されましたが、6時間前後の制限時間の大会が多い中、今日に至るまで大田原マラソンの大きな特徴として厳しい制限時間が守られています。



第1回大会開催時の横断幕(大田原高等学校前)



第1回大会フィニッシュ後のイベント会場(交通公園内)

開催日についても、第5回大会から現在と同じ「11月23日勤労感謝の日」に固定され、マラソン界隈では「勤労感謝の日=大田原マラソン大会」と認知されるようになりました。

また、大田原マラソン大会のフィニッシュ後に提供される地元の新鮮な食材を使った「お味噌汁」は走り終えたランナーたちのエナジードリンクとして第1回大会から現在まで引き継がれています。



🏃 初代コース【第1回～第7回】

当時の大田原市のライスラインを反時計回りに進み、国道4号手前を折り返し、大田原市街地を抜けて陸上競技場を目指すコース。

★第1回大会から有名選手を招待し、第2回大会には中山竹通(当時の日本記録保持者)、第4回大会に有森裕子(当時の日本記録保持者)が出場し、沿道から多くの観客がすずなりとなって声援を送りました。

■主な出場選手(敬称略)

- 有森 裕子(リクルート)
- 仲川 栄二(ダイエー東北)
- 中山 竹通(ダイエー)
- 大八木 弘明(ヤクルト)
- 阿久津 浩三(福島整形外科病院)
- アロイス・ニジガマ(MDI)

🏃 2代目コース①【第8回～第12回】

第5回記念大会を一区切りとして、高低差の少ない「より記録の出るコース」との理念を掲げ、当時の大田原市中心部を2周回する高速コースに変更。

■主な出場選手(敬称略)

- 渋井 陽子(那須拓陽高等学校)
- 物江 収(ヤクルト)
- 麦倉 美穂(カンセキ)
- 鈴木 賢一(富士通)
- 谷川 真理(ヴァーナルRC)



🏃 2代目コース②【第13回～第22回】

陸上競技場の改修に伴い、復路ルートが陸上競技場の北門から進入するコースに一部変更。

星野芳美(eA静岡)が大会6連覇を達成(第16回～第21回)。

★第15回大会に大田原マラソン大会最高記録(男子)の2時間14分53秒で榎部 静二(愛三工業)が優勝。

■主な出場選手(敬称略)

- 星野 芳美(eA静岡)
- 榎部 静二(愛三工業)
- 千葉 真子(豊田自動織機)
- 川頭 健一郎(NTN)



🏃 3代目コース【第23回～第32回】

平成17年の市町村合併を機に、大田原市内を巡る1周回のコースに変更。前半が下り、後半が上りのすり鉢状のコースでランナーの試練の一つ、大田原名物「那須おろし」が誕生した。

★第24回大会に大田原マラソン大会最高記録(女子)の2時間33分38秒で赤川 香織(スズキ浜松AC)が優勝。

■主な出場選手(敬称略)

- 伊藤 達志(JAなすの)
- 赤川 香織(スズキ浜松AC)
- 小崎 まり(ノーリツ)
- 郡司 貴大(小森コーポレーション)
- 下門 美春(ニトリ)
- 今井 隆生(坂戸市陸協)

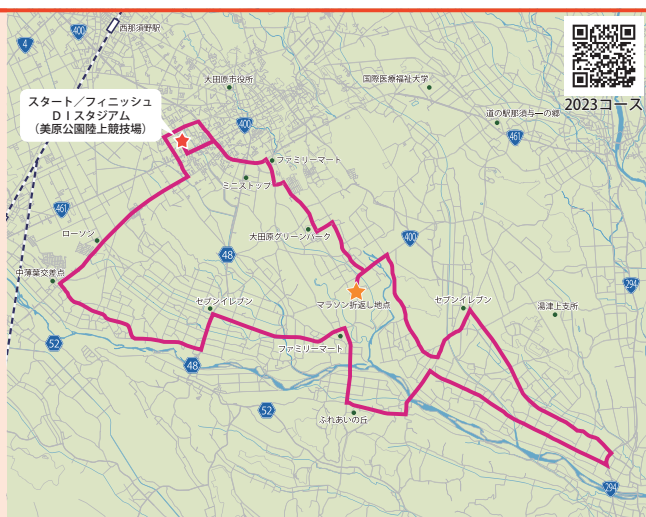


🏃 4代目コース【第33回～】

令和5年に4年ぶりの復活を機にコースを刷新。前半が下り、後半が上りのすり鉢状のコースは3代目コースと、県道滝沢野崎停車場線を走るの2代目コースと同じ。湯津上方面へ南下し、国道294号バイパスから国道400号を北上し、32km付近(新宿地内)では「新那須おろし」がランナーを待ち受ける。

■主な出場予定選手(敬称略)

- 松尾 良一(旭化成)・國司 寛人(旭化成)
- 今井 隆生(SSAC)・齋藤 真也(K-project)
- 加藤 優陽(大田原信用金庫)・伊藤 達志(JAなすの)
- 下門 美春(埼玉陸協)・澤島 朋美(さわはた〜ず)
- 鈴木 絵里(秋田陸協)・猫ひろし(ゲストランナー)



マラソン豆知識・トリビア



第1回大会ポスター



第33回大会ポスター

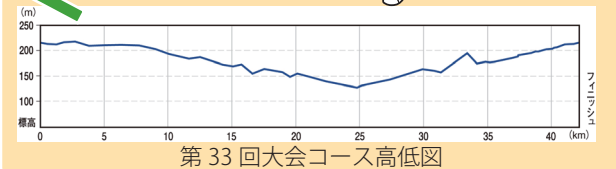
実は今大会のポスターは4年ぶりの再開に合わせて第1回大会ポスターのオマージュ作品となっていました。

大田原マラソン大会を当時から知る方は少し懐かしく感じたかもしれません。

また、今大会ポスターの背景の山は、実は4代目コースの高低図を逆さまにした形となっています。



みんな気がついたかな？



第33回大会コース高低図

マラソンの語源は？

ギリシャの地名「マラトン(Marathon)」を英語読みしたものです。紀元前490年頃、ギリシャ軍の兵士が戦場のマラトンからアテネまでの約40kmを走り、勝利を報告した後、絶命したという故事に由来しています。

マラソンが42.195kmと中途半端な距離の理由は？

元々は42kmでしたが、マラソンを観戦していたイギリスのアレキサンドラ王妃が、お城の窓から見えるようにスタート地点をウィンザーズ城、ゴールは自分が観戦するロイヤルボックスの前と要望したからと言われています。この結果、マラソンの距離が42.195kmとなり、それまでバラバラだったオリンピックのマラソン距離が、パリ大会(1924年)以降正式に42.195kmに統一されました。

マラソンコースの2つの計測方法

①ワイヤー計測

第1回大会時の計測はワイヤー計測で行い、日本陸連の検定員1名と那須陸上競技協会と市職員などが42.195kmをスタートからゴール、ゴールからスタートと2班に分かれて100mスチール製ワイヤーと100cmの竹の棒(右左折、カーブ用)を駆使して尺取虫のように徒歩で計測を行いました。

②自転車計測

第33回大会の大田原マラソン新コースは自転車計測で行い、日本陸連の検定員3名が計測用自転車で42.195kmの走路を最短コースで駆け抜けて計測を行いました。

今年は4年ぶりの開催！大田原マラソンは、制限時間4時間を掲げ、発足当時のコンセプトである「若手の新人発掘、育成」に一貫して取り組み、Run as One - Tokyo Marathon による東京マラソンとの協定、MCC(マラソンチャレンジカップ)への参加と、着実にその歩みを進めてまいりました。

今大会はコロナ禍を経ての最初の大会となります。11月23日(木)祝(勤労感謝の日)に全国からマラソン、10kmコースと「自己への挑戦」を掲げたランナーたちが大田原市に集結します。

市民の皆さまには交通規制などでご迷惑をお掛けしますが、ぜひコース沿道で一生懸命走る挑戦者(ランナー)たちに熱い声援を送ってくださいますようよろしくお願いします。



今大会を盛り上げてくれる猫ひろしさん

猫ひろしさんからのコメント
『初の大田原マラソン、全力で走って全力で盛り上げられるよう猫まっしぐらに頑張ります！ニャー』

【略歴】

2016年リオデジャネイロオリンピックにカンボジア代表として出場。東京マラソン2023にも参加し、8年ぶりに自己記録を更新(2時間27分2秒)

【取材協力】 那須陸上競技協会 会長 嶋村大司氏
那須陸上競技協会 名誉会長 坪山邦夫氏
大田原青年会議所 元理事長 奈良靖久氏